

都心6区の市場を検証

新宿 渋谷 文京

トータルブレイン

商品企画と価格設定は冷静かつ慎重に。マンション市場調査会社のトータルブレイン(港区、久光龍彦社長)は、日本のマンション市場の中心である都心6区(千代田

・中央・港・文京・渋谷・新宿)について検証した。後半の今回は、新宿・渋谷・文京区の3区を分析した上で、都心6区全体の市場性を見る。

同社によると、新宿・渋谷・文京区の3区は、おむね良好という。

3区の需給バランスはおむね良好という。た05～09年は年間690戸のボリュームで、約60%減と大幅に減った。旧価格市場では毎年100戸ほどの供給が続いていた渋谷区は、価格が大きく上昇した06年以降、年間200戸台に落ち込んだ。

平均坪単価は、ピーク時の比べて落ちてきてきたという。旧価格市場では毎年100戸ほどの供給が続いていた渋谷区は、価格が大きく上昇した06年以降、年間200戸台に落ち込んだ。

商品企画と価格設定 冷静かつ慎重に

全体的には良好な需給バランス

千代田・中央・港区のいわゆる都心3区と比べて住宅街のイメージが強い。

新宿区は、旧価格市場の2000～04年に年間1729戸の供給ボリュームがあった。しかし、価格が上昇し減じた。

文京区も旧価格市場時に年間1200戸程度の供給があったものの、新価格市場になった後は半減した。

文京区も旧価格市場時に年間1200戸程度の供給があったものの、新価格市場になった後は半減した。

駅近立地」と「需給バランスが数多く、今後の供給ボリュームが少ないエリアが多

商品企画と価格設定に冷静かつ慎重な判断が求められると強調する。

商品企画と価格設定に冷静かつ慎重な判断が求められると強調する。

商品企画と価格設定は冷静かつ慎重に。マンション市場調査会社のトータルブレイン(港区、久光龍彦社長)は、日本のマンション市場の中心である都心6区(千代田

・中央・港・文京・渋谷・新宿)について検証した。後半の今回は、新宿・渋谷・文京区の3区を分析した上で、都心6区全体の市場性を見る。

同社によると、新宿・渋谷・文京区の3区は、おむね良好という。

3区の需給バランスはおむね良好という。た05～09年は年間690戸のボリュームで、約60%減と大幅に減った。旧価格市場では毎年100戸ほどの供給が続いていた渋谷区は、価格が大きく上昇した06年以降、年間200戸台に落ち込んだ。

平均坪単価は、ピーク時の比べて落ちてきてきたという。旧価格市場では毎年100戸ほどの供給が続いていた渋谷区は、価格が大きく上昇した06年以降、年間200戸台に落ち込んだ。

駅近立地」と「需給バランスが数多く、今後の供給ボリュームが少ないエリアが多

商品企画と価格設定に冷静かつ慎重な判断が求められると強調する。

商品企画と価格設定に冷静かつ慎重な判断が求められると強調する。

商品企画と価格設定は冷静かつ慎重に。マンション市場調査会社のトータルブレイン(港区、久光龍彦社長)は、日本のマンション市場の中心である都心6区(千代田

・中央・港・文京・渋谷・新宿)について検証した。後半の今回は、新宿・渋谷・文京区の3区を分析した上で、都心6区全体の市場性を見る。

同社によると、新宿・渋谷・文京区の3区は、おむね良好という。

3区の需給バランスはおむね良好という。た05～09年は年間690戸のボリュームで、約60%減と大幅に減った。旧価格市場では毎年100戸ほどの供給が続いていた渋谷区は、価格が大きく上昇した06年以降、年間200戸台に落ち込んだ。

平均坪単価は、ピーク時の比べて落ちてきてきたという。旧価格市場では毎年100戸ほどの供給が続いていた渋谷区は、価格が大きく上昇した06年以降、年間200戸台に落ち込んだ。

駅近立地」と「需給バランスが数多く、今後の供給ボリュームが少ないエリアが多

商品企画と価格設定に冷静かつ慎重な判断が求められると強調する。

商品企画と価格設定に冷静かつ慎重な判断が求められると強調する。